

大船渡市地域おこし協力隊活動報告会

発表用資料



元大船渡市地域おこし協力隊員
今井 雄一
令和7年8月29日

自己紹介

今井 雄一

埼玉県鴻巣市出身の58歳(1967年7月生まれ)

大卒後(1991年)から51歳まで自動車部品メーカーの機械系エンジニア

2018年8月に脱サラ

2019年2月から2022年3月まで鹿児島で協力隊員としてブドウ農家で修行

2022年4月にここ大船渡へぶどうとワインを造るためにやってきました！

補足

脱サラして鹿児島へ移住した後にバツイチになりましたが、鹿児島在住時に再婚しまして、妻と息子と私と三人で大船渡へと移住しました。

趣味はロードバイクと弓道、と言ってますが、大船渡へ来てから全くできてません。



協力隊員当時の活動方針

- ◆ 所属部署：大船渡市商工港湾部産業政策室

協力隊ミッション：大船渡をワインブドウの産地にするとともに、ワインツーリズムを楽しめる場所にする。

「第2期大船渡市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に掲げられた、基盤産業の一つである食産業に関連した「**ワインブドウ産地化プロジェクト**」を基軸として、
(株)スリーピークスの支援を受けつつ、大船渡へ新しい人の流れをつくり、地域経済の好循環を生み出す仕組みづくりを推進する。

3年間の主な活動＋現在

項 目	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度(現在)
スリーピークス	リンゴとブドウの栽培、ワインとシードル造り、ブドウの改植	リンゴとブドウの栽培、ワインとシードル造り、リンゴの植樹400本	リンゴとブドウの栽培、ワインとシードル造り、ブドウの植樹40本	個人事業主として、スリーピークスさんの各種業務を受託
イベント	ワインツーリズムさんりく(初開催)、バル仙台、産業まつり、など	ワインツーリズムさんりく、バル仙台、ためして大船渡、など	ワインツーリズムさんりく、ガイドツアー、岩手産直市、など	ワインツーリズムさんりく
スキルアップ	ワインブドウの学校@郡山	アグリフロンティアスクール@盛岡、WSET Level3(ワイン関連資格)	栽培&醸造の経験	栽培&醸造の経験
自分の畑	探したがみつからず	50㎡の畑でぶどう栽培@碓氷	300㎡の畑でぶどう栽培@碓氷、2000㎡の畑でりんご栽培開始@米崎	1000㎡の畑でぶどう栽培@碓氷、2000㎡の畑でりんご栽培@米崎

活動紹介 ブドウ栽培

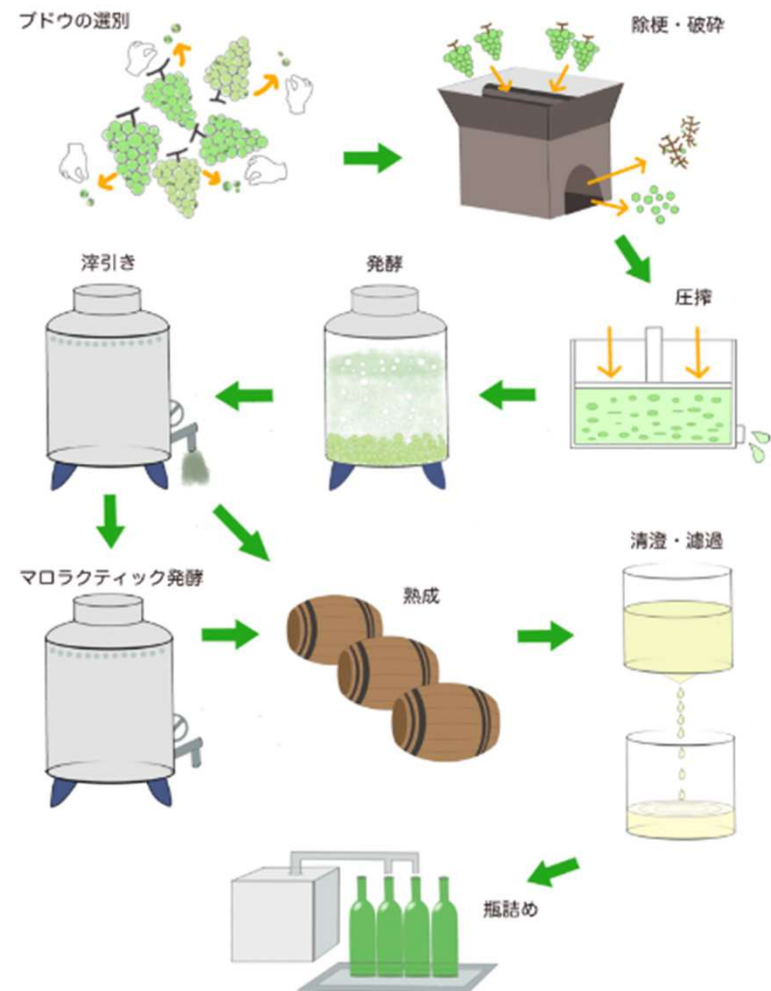


大船渡と陸前高田のワイン用ブドウ畑で、枝の剪定、剪定した枝の誘引、薬剤散布、芽かき、伸びた枝の誘引、不要な葉を除く、伸び過ぎた枝を切る、雨除けビニール設置、草刈り、収穫などの作業を行っています。

活動紹介 ワイン造り

夏から秋にかけて収穫したブドウを醸造します。醸造工程はおおまかに、選果、除梗破碎、圧搾、発酵管理、澱引き、熟成、濾過、瓶詰め、という順序で進みます。白ワイン、赤ワイン、スパークリングワインでは若干工程が変わります。秋に仕込んだもろみは早ければ翌年の春に販売可能な状態になります。

醸造では発酵途中のもろみの状況（温度、比重、異臭の有無）を把握することがとても重要です。



活動紹介

ワインツーリズムさんりく (令和4年より毎年開催)



自慢の一杯に酔いしれて

ワインツーリズムさんりく

気仙岡市で
きょうまで
地元内外から愛好者ら参加



「ワインツーリズムさんりく」が開幕し、地元内外のワイン愛好者らが来場＝大船渡市(電子新聞に別写真あり)

三陸生まれのワインと食の素嗜らしきを発信しようとのイベント「ワインツーリズムさんりく」は7日、気仙岡市などで始まった。4回目を迎えた今年は、気仙を含む青森、岩手、宮城の各県からワイナリーが参加し、三陸の風土が育んだワインやシードルなどを提供。気仙内外から訪れたワイン愛好者らが各ワイナリー自慢の一杯に酔いしれ、交流も深め合った。イベントは8日も開かれる。

このイベントは実行委が主催し、大船渡市、陸前高田市、宮城県気仙沼市、南三陸町の4市所に会場を開き、気仙からは大船渡市の関スリーピークス(及川武宏代表取締役)と、陸前高

田市の前神田葡萄園(熊谷昇弘社長)が参加した。このイベント「ワインツーリズムさんりく」は、大船渡市に設けられた大船渡会場には、同社と青森県八戸市のはちのへワイナリー、宮城県七ヶ浜町の七ヶ浜ワイナリーが出店。それぞれ自社製造のワインやシードルなど、計20種類余りを用意した。

来場者らはメニュー表などから好みのワインを選び、さっそく堪能。各ワイナリーのワインを飲み比べたり、手作りのキッシュやタルト、大船渡の事業者が手がける水産加工品などとの組み合わせも楽しんだ。神奈川県厚木市から訪れた佐野雄斗さん(40)は「ワイナリーで知人に教えてもら



ブドウ畑の中で乾杯する参加者ら＝陸前高田市

い、初めて参加した。三陸のワインは地元らしさが感じられる味で、蒸しガキなどにも合っている。いい機会があればまた参加したい」と笑顔を見せた。

大船渡会場は初参加となった。はちのへワイナリーのグループ店・ワイン専門店ヴァンタスの上藤大地店主(45)は「今年を機に、八戸のワインにも興味を持ってもらいたい。県をまた

出す。』

活動紹介 ガイドツアー

(令和6年のワインツーリズムさんりくにて実施)



「大船渡のワイン」知る

協力隊の今
井さん企画

初のガイドツアー開催

大船市で販売したワインの半井蓮一（さん）が主催する「地元のワイナリー＆ワイン」では、このワイナリーは3日、同市内で開かれた、醸造から販売までの流れを伝えたほか、ワイン用の木を造っている庭にも足を運び、参加するワイン製造師大への夢を共有した。



日頃の管理方法などを伝える今井さん（中央、電子新聞に別写真あり）

さんは、同県内の自動車部品メーカーで製品開発の技術者として従事。平成31年1月末に鹿児島県に転住し、地域おこし協力隊員としてワインぶどう産地化の新事業に取り組んだ後、令和4年4月に解任した。

大船渡町内にワイナリーを構える関スリービークス

市販から約10人が参加。スリーピークスのワイナリーでは、同社が製造、販売しているワインやリンゴを原料としたシードルの各製品を紹介、2ポドウの品質や醸造方法によって風味や色の違いが出てくる、などと解説した。参加者との会

調や、現在は東崎町などで
 ワイン用のブドウ生産に努
 め組んでいる。苗も紹介
 「数年前には自分が仕めん
 だワインができるようになった
 来年少くしての収穫終了後
 も定住してワインづくりを
 続ける意欲を示した。
 後半は、同社が10年ほど
 前からブドウを育てる慣習

ともに、今後の生産拡大に向けて、
期待を込めていた。

15日
気仙沼高校専オー
ブンキャンパス
気仙沼市の気仙沼高等学校
専門校は15日（土）、本
年度第一回オーブンキャン

安全な登校見守る
あいさつ運動を展開

大船渡市立小中学校、生徒、教員（左から校長、生徒、教員）で「あいさつ運動」が行われた。担当は、安全委員会の生徒、教員、PTA、PTAの代表者、大船渡警察署員も参加し、生徒らの安全な登校を見守った。

大船渡市の立小中学校、生徒、教員（左から校長、生徒、教員）で「あいさつ運動」が行われた。担当は、安全委員会の生徒、教員、PTA、PTAの代表者、大船渡警察署員も参加し、生徒らの安全な登校を見守った。

あいさつ運動は、生活委員の1年生をはじめ、教員、PTA、PTAの代表者、大船渡警察署員も参加し、生徒らの安全な登校を見守った。

年輩別ボランティア協会の活動の様子。約30人が参加。雨の降る中、参加者たちは元気な声で挨拶を交わしている。

[illegible]

活動紹介 自分の畑(借地)



碁石のぶどう畑



米崎のりんご畑

来年度からの今井果樹園(仮)の歩み

項 目	令和8年度	令和9年度	令和10年度
今井果樹園(仮) 生産&販売	ぶどう栽培継続@碁石 りんご栽培&収穫@米崎 ぶどう栽培開始@米崎 ぶどう苗木700本植樹 4月以降に、前年度仕込んだ アップルワインの販売開始	ぶどう栽培 & 収穫@碁石 りんご栽培 & 収穫@米崎 ぶどう栽培継続@米崎 前年度に仕込んだシードル、 ワイン、ジュースの販売	前年度と同じ (ぶどう収穫量増加予定) 今井畑産ぶどうのワイン 販売開始
妻(泰子)	就農初年度 4月に果樹農家の事業主として 起業し、りんご&ぶどう栽培	就農2年目 果樹農家の事業主として、 りんご&ぶどう栽培	就農3年目 果樹農家の事業主として、 りんご&ぶどう栽培
わたし	個人事業主として活動しつつ、 今井果樹園(仮)の作業も行う	前年度と同じ	前年度と同じ (令和13年度から今井果樹園 (仮)の従業員)
スリーピークス	私が、個人事業主として、ス リーピークスさんの各種業務を 受託 今井畑の果実の仕込みはス リーピークスさんで委託醸造	前年度と同じ 今井畑のワインぶどう 初仕込み	前年度と同じ

今後やりたいその他の事業

ワインバル
@スリーピークス



ワイン醸造体験と
ワインのセット販売



ワインブドウ
ジェラート
製造と販売



ワインと軽食の屋台

ブドウ苗木
生産と販売



最後にお伝えすること

提案

ワインブドウ産地化プロジェクトを大船渡市として改めて実務として推進していただけたら積極的に協力します。また、県外から移住して新規就農する人たち向けの支援制度(借地、苗木、住居など)を創設していただけるとありがたいです。

希望

私たち夫婦の活動を応援してくれる方々と積極的に関わりたいです。
ぶどうの有機栽培と天然酵母でのワイン造りにチャレンジします。
私たちの事業に関連しそうな補助金があればぜひお知らせください。

感謝

今年3月までの3年間、協力隊員の私の面倒を見てくださった市役所のみなさま、市民のみなさま大変ありがとうございました。みなさまの支えによって、今もここに居られると実感しています。

大切なことは 夫婦の二人三脚
定住と実りある未来のため

妻

新規就農
(R8年から)

三陸の自然
が大好き



私

栽培と
醸造の知識
(6年間)

農業機械や
工具が好き



こびとのように
小さくてもこつこつと

ご清聴ありがとうございました。



インスタ